

仙台市で行っていたペット同行避難訓練(2005～)

仙台市総合防災訓練
ペット同行避難訓練

1. 開催日時 平成17年6月12日(日) 1:00～11:30

2. 開催場所 公園、学校等

3. 訓練内容

(1) 犬の鑑別

① 動物救護所設置・運用訓練
② ペット同行避難訓練

(2) 訓練概要
平成17年6月12日(日)午前7時、震度6の宮城県沖(遠動型)地震発生。仙台市は震度6強に達し、仙台市は東北地方で最大の被害を受けた。被災地域住民は家族の一員であるペットを同行避難、倒れまはくれたペットを保護して避難する人もいた。避難所で同居できないペットは動物救護所に一時預け入れられた。中には負傷したペットもあり、応急措置が必要になった。

(3) 結果

① 動物救護所設置・運用訓練
② ペット同行避難訓練
③ 自前アンケートによるペット同行避難訓練
④ 緊急連絡時対応訓練
⑤ その他、ペット同行避難を普及、啓発するための展示・パンフレット配布・アンケート調査を行う。



仙台市の総合防災訓練というのは、35年前に宮城県沖地震が起こった6月12日に毎年行っていましたが、その中で、7年前の2005年よりペット同行避難と動物救護所設置運用訓練を獣医師会とボランティアで行っていました。

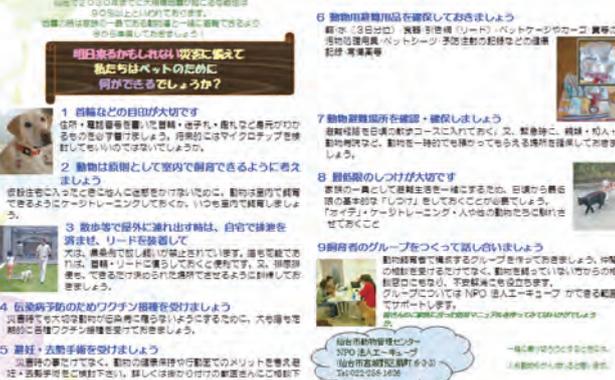
災害啓発のチラシ

仙台市23区0区0町で、子供連れの被災者や高齢者は、避難所ではペットと一緒に避難することができません。被災者の中には、ペットと一緒に避難したいという声も出ています。被災者の中には、ペットと一緒に避難したいという声も出ています。

明日来るかもしれない災害に備えて、私たちはペットのために何が出来るでしょうか？

- 1 避難などの自由が大切です
飼い主・飼育者等も、ペット、犬、猫も、備えられた避難所に入る権利があります。将来的にはマイクログリッドを建設して、いざという時に活用できるようにしましょう。
- 2 動物は動物として室内で飼育できるように考えましょう
避難所に入る前に、必ず室内で飼育できるように、ペットの飼育環境を整えておくことが大切です。いざという時に、ペットと一緒に避難できるように準備しておきましょう。
- 3 散歩等で屋外に出れば、自分で避難を済ませ、リードを離して自由に行動できるようにします。遠く避難所へ行く場合は、リードを離して自由に行動できるようにします。遠く避難所へ行く場合は、リードを離して自由に行動できるようにします。
- 4 避難所でのためのグッズ準備をしましょう
避難所でのためのグッズ準備をしましょう。避難所でのためのグッズ準備をしましょう。避難所でのためのグッズ準備をしましょう。
- 5 避難・救助準備をしましょう
避難・救助準備をしましょう。避難・救助準備をしましょう。避難・救助準備をしましょう。

9 避難所のグループをつくらせて欲しいと思います
避難所でのためのグループをつくらせて欲しいと思います。避難所でのためのグループをつくらせて欲しいと思います。



飼い主様には災害啓発のチラシをつくりまして、災害に備えての準備をボランティアと共に婦人防火クラブや町内会、市民センター、マンション等管理組合主催の講習会の中でお話をさせて頂いてきていただいていたところでした。こういうことをしながら様々な課題が出てきたところでしたが、そんな中で平成23年3月11日あの日を迎えてしまったということになります。

東日本大震災における仙台市の被害状況等

平成23年3月11日 14時46分
東北地方太平洋沖地震
マグニチュード9.0
震度6強：宮城県
震度6弱：宮城県、岩手県、青森県、秋田県、山形県、福島県
推定した津波の高さ(仙台港)：7.2m

平成23年4月7日 23時32分
宮城県沖地震
マグニチュード7.2
震度6強：宮城県
震度6弱：宮城県、岩手県、青森県、秋田県、山形県、福島県

死者：944名・行方不明者：31名
全壊：20,817棟・大規模半壊：26,651棟
半壊：81,192棟
倒壊：115,571棟

被災者総数：約1,200万人
避難所数：約2,000箇所



さて、東日本大震災で仙台市の中ではどういう状況だったかといいますと、これが一番新しい8月31日のデータになります。動物管理センターがある宮城野区は震度6強、津波の高さは岩手県よりもかなり低いですが7.2m、市内だけでも死者・行方不明者1,001名にもなりました。建物被害としては全半壊で138,454戸、市内約3分の1の世帯が被害を受けたこととなります。さらに3月11日だけではなく、4月7日にも宮城野区は震度6強の地震がありました。余震ですが、マグニチュード5以上の余震がトータルで683回もありました。全てを飲み込み奪い去る津波の被害が特徴で、まさに史上最大想定外、未曾有の大震災でありました。その中で実態は明らかではありませんが、推定としては3分の1ということで、犬猫は2万5千頭程被災しているだろうと考えております。

津波の被害 仙台市沿岸部

【津波による浸水地区】
人口：22,021人
世帯数：8,110
世帯面積：5,200ha



既に様々なメディアで多くの映像を見ておられると思いますが、当市の広報課が震災の時に職員が撮影した写真を集めて記録集を作成しました。そのデータがありますので皆様に見ていただこうと思ひまして準備してきました。動物救護からは少し外れますが非常に貴重な衝撃の写真がたくさんありますので、実際に起こったことを実感していただくために必要だと思いますので少しお時間をいただきたいと思ひます。

津波被害のあった、仙台市の沿岸部です。犬のマークが動物管理センターのある場所で、津波のあった場所が赤い線で示されています。今回、避難場所であった荒浜小学校や中野小学校周辺がどういった状況だったか写真を見ていただきたいと思ひます。この浸水地区には22,021人、8,110世帯あり、ここで登録された犬は約3,000頭いました。

※以下の震災の写真は仙台市広報課作成、「東日本大震災1年の記録」より抜粋したものです。